校友会上海支部例会報告

２０１７年７月15日

このレポートを書いているのは例会開催後１０日ほどたった７月末、上海は連日４０度を超え、体感温度は４６度、湿度７０％以上という街中がサウナのよう、仕事も投げ出して避暑に出かけたい気分です。

今月の例会の頃は幸いにもまだそれほど暑くなく、ＡＰＩＴＡというショッピングモール（元々は日系、現在は香港系）がちょうど日本風夏祭を開催していて、ちょっと覗いてから例会に集まれるロケーションのスペイン料理屋MuGｕｓｔａにて開催しました。

お祭をやっているということもあり、１６名のうち４名が浴衣や甚平姿で集まりちょっとした日本のお祭気分を盛り上げ、さらに久しぶりに参加された方が数名、日本から藤井健司さん（７６年仏語入学)、北京に拠点を移された前中島支部長、昨年帰任し今年再度駐在で戻ってきた三木康広さん（９９年中語入学）との再会を喜びあい、週末の夜のひと時をを楽しく過ごしました。






PAX MUNDI PER LINGUAS
ALUMNI
京都外国語大学校友会 上海支部


PER LINGUAS
ALUMNI